

令和6年度第2回射水市地域公共交通活性化協議会 会議録

- 1 開催日時 令和6年7月31日（水）午後2時30分～午後4時00分
- 2 開催場所 射水市市役所 大島分庁舎 3階会議室
- 3 出席者 本田会長、寺林副会長、景山委員、有田委員（代理：谷村氏）、見角委員、山崎委員、片岡委員、源代委員（代理：沼田氏）、福田委員（代理：重吉氏）、宮腰委員、原田委員、渡辺委員、山田委員、大村委員、中尾委員、油谷委員、田中委員、楠委員、中松委員、太田委員、長谷川委員
- 事務局 明野市民生活部次長、春木生活安全課長、水島交通政策班長、土橋主査、笹島主任
- 欠席者 上野委員、白川委員、安田委員、新倉委員、石橋委員、篠田委員

4 会議概要

(1) 開会

(2) 射水市地域公共交通計画の骨子（案）について

資料1 項目1～4について事務局より説明

（会長）

- ・「1. 公共交通をとりまく現況の整理」の「公共交通による人口カバー率」は、鉄道駅及びバス停が対象だが、のり一とでは、どのような考え方となるのか。

（事務局）

- ・のり一との乗降場所も対象である。

（会長）

- ・「2. 公共交通に関するニーズ」の「デマンド交通」は、のり一ととデマンドタクシーが該当するのか。

（事務局）

- ・べいぐるんも該当する。

(委員)

- ・のり一と車内での運転手募集の案内の掲出などから、運転手の不足を感じているが、今後、運行エリア拡大の支障とならないか、心配である。

(事務局)

- ・基本的には、コミュニティバスの運転手が、のり一との運転手に移行することとなるため、大きな支障とはならないと考えている。

(副会長)

- ・のり一との乗降場所を増設する計画はあるか。

(事務局)

- ・今後の運行状況等を踏まえ、検討することとしている。

(副会長)

- ・のり一との評判は良いが、市内全域の運行となるのはいつ頃か。

(事務局)

- ・時期は定めていない。市北東エリアでの実証運行の効果も確認しつつ、他での導入も検討することとしている。

(副会長)

- ・コミュニティバスからのり一への移行により、運行コストは増加したか。

(事務局)

- ・車両の小型化による燃料費の減などにより、運行コストは減少している。

(会長)

- ・のり一とで使用する車両の大型化の可能性はあるか。

(事務局)

- ・多人数での利用が想定される場合は、引き続き、コミュニティバスの路線として運行することとしているため、のり一とで使用する車両の大型化は検討していない。

(委員)

- ・のり一とは、(大量輸送ではなく) 細かな需要に対応したものであると考えられる。

(会長)

- ・定員を超える予約があった場合はどうなるのか。

(事務局)

- ・別の車両で配車されることとなり、その前提で予約内容が案内され

る。

(委員)

- ・定員を超えた予約をしたことがあるが、待ち時間は1時間未満であった。

(委員)

- ・のる一とは、車いすに対応しているか。

(事務局)

- ・今後の検討課題のひとつである。

(委員)

- ・降雪等で通れない道路がA I から案内された場合、どうなるのか。

(事務局)

- ・運転手の判断で迂回等をしていただくこととなる。

(委員)

- ・「4. 本市の公共交通に係る課題整理」の「地域住民の参画」の具体例は何か。

(事務局)

- ・足が不自由でバス停までたどり着けない等、のる一などでは対応しきれない場合などを想定している。具体的には、黒河地区のあいのり移動支援事業などである。

(委員)

- ・「1. 公共交通をとりまく現況の整理」の「コミュニティバス等の利用者数の減少」は、人口減少が主な原因か。

(事務局)

- ・人口減少のほか、コロナの影響もあり、主原因を特定することは難しい。

(委員)

- ・「4. 本市の公共交通に係る課題整理」の「利用者数の維持」について、人口が減少する中では、利用者数の維持も困難ではないか。

(事務局)

- ・高齢化率は上昇すると見込まれていることから、必ずしも困難であるとは言えないではないかと考えている。

(委員)

- ・細かな需要に対応できるのる一とを、高齢者に対して積極的にPRしていただきたい。

(会長)

- ・人口が減るからと言って、必ずしも公共交通の利用が減るものではない。利用しやすいものであれば、(移動全体の中で公共交通が担う割合である) 分担率は上がるものであり、重要な点である。

(副会長)

- ・のり一とは、南東エリアでは何台運行しているのか。また、北東エリアでは何台の予定か。

(事務局)

- ・南東エリアでは最大5台、北東エリアでは最大6台の予定である。

(副会長)

- ・のり一とは買物難民の解消にもつながっていると考えているが、のり一との運行主体は市でよいか。また、将来、車両台数が増えて経費が増大した結果、廃止になることはあるか。

(事務局)

- ・市の事業であるが、運行は事業者へ委託している。また、将来見通しについては、何とも言えない。

(委員)

- ・のり一とは、コンパクトでステップもある。また、荷物を乗せてあげるなど、高齢者の乗車を乗客や運転士が補助することもある。

(会長)

- ・市外から来られた方の利用も課題である。
- ・「4. 本市の公共交通に係る課題整理」の「より合理的な公共交通体制」とは、何か。

(事務局)

- ・それぞれの交通手段の役割を明確化し、役割分担した交通体系をイメージしている。

(会長)

- ・(「交通体制」より)「交通体系」の方が良く使われる言葉かと思う。

資料1 項目5～6について、事務局より説明

(委員)

- ・市内の幹線として、新湊地域と小杉駅のほか、新湊地域と越中大門駅なども考えてもよいのではないか。

(事務局)

- ・交通結節点を結ぶものは市内幹線として必要ではないかと考えている。

(会長)

- ・「6. 地域公共交通の位置づけ」の「デマンド交通」には、のり一が含まれているか。

(事務局)

- ・含まれている。

(会長)

- ・「6. 地域公共交通の位置づけ」の「その他の交通手段」とは何か。

(事務局)

- ・地域主体の交通である黒河地区の地域あいのり移動支援事業などを想定している。

(委員)

- ・「基本方針2. 交通DXによる持続可能な公共交通の仕組みづくり」について、高齢になるほどDXへの対応が難しくなると思うが、どのような対策を検討しているか。

(事務局)

- ・のり一とは、予約が必要なため、説明会や体験会などにより、利用方法の周知に努めている。

(委員)

- ・のり一との説明会は、体験方式より説明方式の方が多く印象を受けているが、体験の方が良いと思う。

(事務局)

- ・高齢者向けのお出かけ教室などの企画も検討したい。また、地域主体で体験会を企画しているところもある。

(委員)

- ・例えば、高齢者と孫が参加できる企画だと、高齢者が孫から教えてもらうこともできる。

(会長)

- ・「基本方針2. 交通DXによる持続可能な公共交通の仕組みづくり」について、現計画から「交通DX」が追加されているが、高齢者のことを考えると、記載するかどうかを検討する必要がある。

(副会長)

- ・県内でのり一を導入している市町村はほかにあるのか。

(事務局)

- ・ A I オンデマンドバスの仕組みはいくつもあるが、このうち、のりーとは射水市のみだが、他の仕組みは砺波市等で導入されている。

(副会長)

- ・他にのりーを導入している地域がないのであれば、(主に使い方の面で) 市外の方にとって利用のハードルが高いと思う。

(委員)

- ・交通 D X の中心となるのが、コミュニティバスとのりーとであると捉えているが、その対象や目的について伺いたい。

(事務局)

- ・(A I オンデマンドバスである) のりーの運行のほか、バスロケーションシステムの活用なども交通 D X に含まれる。

(委員)

- ・万葉線の利用案内等も含まれるか。

(事務局)

- ・交通機関の検索や予約は、それぞれのアプリ等で可能だが、一括してできるものはまだない。将来的には、できるようにしていきたいと考えている。

(会長)

- ・可能な限り交通機関ごとの手続きを一括してできるようにしていくことは、日本型 M a a S であり交通 D X である。

(委員)

- ・持続可能な交通サービスについて、県の戦略では、自治体の投資と県民の参画による実現を目指している。
- ・大項目 4 「持続的な運行継続に向けた課題」に「地域住民の参画」とあるが、県の計画では、沿線企業や店舗に参画いただく意図で「県民の参画」と記載している。現在、県ではファミリーマートと包括協定を結び、店内イートインスペースを待合所として使用できる取組みを開始したので、市の計画策定の際はこのような施策も参考としてほしい。
- ・運転手不足対策についても記載を検討いただきたい。

(事務局)

- ・運転手不足は、全国的な問題であり市単独での対応は難しい。すぐにできることとして、のりーと車内での運転士募集案内から始めているが、よい案があればご提案いただきたい。

(委員)

- ・のり一とを運転する際に必要な資格はなにか。

(事務局)

- ・普通二種免許で運転が可能な車両もあり、大型二種免許が必要なバスよりも間口を広げている。二種免許の取得には、国や県のからの助成がある。

(委員)

- ・高齢者が、電話予約期限の17時を過ぎてしまい、困っていたことがあった。電話予約期限が運行時間より早く終了する点を改善してはどうか。

(事務局)

- ・今後検討したい。

(3) 閉会